

令和4年7月27日

第87号

公益財団法人 川崎市シルバー人材センター 川崎市川崎区堤根34-15 ふれあいプラザかわさき1F TEL 044-222-6886 FAX 044-221-8516

シルバーかわさき

http://www.kawasaki-sc.or.jp/

令和4年度 第1回 定時理事会・定時評議員会等の開催

令和4年度第1回定時理事会が5月30日に開催され、次の議案について審議を行い、全会一致で承認されました。

定時理事会

〔議案〕

- ①令和3年度事業報告及び事業報告の附属明細書の承認について
②令和3年度決算(計算書類等)の承認について
③評議員選定委員会委員の選任について
④令和4年度定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定(抜粋)について

令和4年度定時評議員会及び令和4年度第2回臨時理事会が6月21日に開催され、次の議案について審議を行い、全会一致で承認されました。

定時評議員会

〔議案〕

- ①令和3年度決算(計算書類等)の承認について
②役員を選任について

臨時理事会

〔議案〕

理事長及び常務理事の選定について

事業報告

令和3年度は、昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の世界的規模での拡大による影響が大きく、経済活動の先行き不透明感が強まったことなどから、当センターにおいても企業の受注契約の見直しや就業の見合わせ、公共受注の一部就業中止などにより、契約金額は減少しました。

また、70歳までの就業確保が努力義務となる改正高齢者雇用安定法の施行などから、会員の増強に係る周辺環境が厳しくなる中、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年行っていた区民祭への参加など市民の方へ直接的にPRできるような活動を中止しましたが、老人福祉施設での募集広告入ポケットティッシュの配布や、タウン情報誌への募集記事の掲載回数を増やすなど、コロナ禍においても実行可能な取組を実施した結果、会員数は令和2年度を上回ることができました。

葬祭場運営事業については、「かわさき南部斎苑」及び「かわさき北部斎苑」の指定管理者として事業運営を行っております。

増加する火葬件数に対応するため、南北斎苑での夏期・冬期の友引日開苑や、北部斎苑の火葬件数を増やすなど対応し、令和3年度の目標を上回ることであります。

令和3年度 決算報告(正味財産増減計算書)

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで) (単位:円)

Table with financial data including 經常収益, 經常費用, 当期經常増減額, etc.



定時評議員会の様子

事業実績前年度対比

Table comparing business performance between the current year (令和2年度) and the previous year (令和3年度).

安全就業だより

令和4年度第1回 安全・適正就業委員会開催

6月28日(火)、第1回安全・適正就業委員会が開催されました。議題は、①令和4年度「安全就業標語」の選定②令和3年度の委員会及び各事務所の安全・適正就業対策会議の事業報告③令和3年度事故発生状況について等で、それぞれ説明がありました。

「安全就業標語」は71作品の応募があり、委員会で選定した結果、最優秀作品が1作品、優秀が2作品、佳作が3作品選出されました。

令和3年度事故発生状況については、前年度に比べ、傷害事故は2件減少の9件、賠償事故は5件減少の3件となったことが報告されました。



安全・適正就業委員会の様子

令和4年度
川崎市シルバー人材センター
安全就業標語

○最優秀作品

「安全は、あせらず、急がず、無理をせず」

夏虫 まき 江南部会員

○優秀作品

「余裕ない焦る心に事故招く!!」

村岡 算人 南部会員

「自己過信! 慣れた時こそ再確認」

川添 善市 南部会員

佳作として、中島 治 南部会員、上條 正雄 北部会員、尾崎 三千子 北部会員が入選しました。



(公社) 神奈川県
シルバー人材センター連合会主催
「安全就業」表彰式

(公社) 神奈川県シルバー人材センター連合会主催の令和3年度安全就業標語の募集において、矢吹富雄 南部事務所会員の標語が「優秀賞」を受賞されました。また、「安全就業優秀・優良拠点」に当センター南部事務所が2年連続の受賞となりました。

○神奈川県シルバー人材センター連合会
安全就業標語「優秀賞」

「コロナ禍で大きな声を出せねども
マスクの下から指差呼称」

(右) 矢吹会員

矢吹 富雄 南部会員



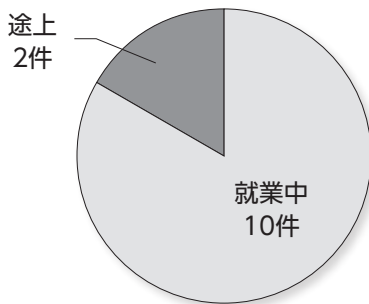
(左) 田村担当部長・南部事務所長 (右) 池田理事長

令和3年度 事故件数に関する分類について

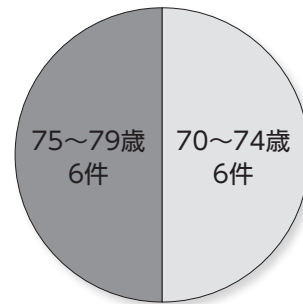
事故発生件数

事故種別	令和2年度	令和3年度	増減
傷害	11件	9件	△2件
賠償	8件	3件	△5件
合計	19件	12件	△7件

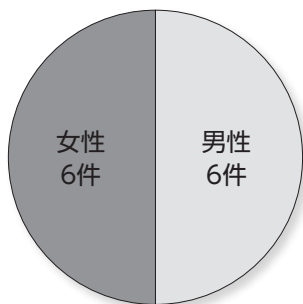
①就業/途上別



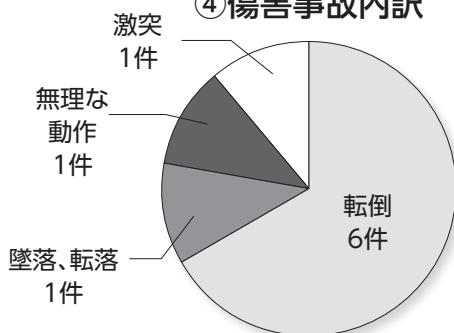
②年齢別



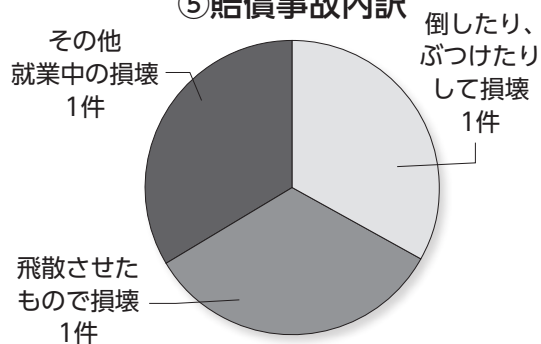
③男女別内訳



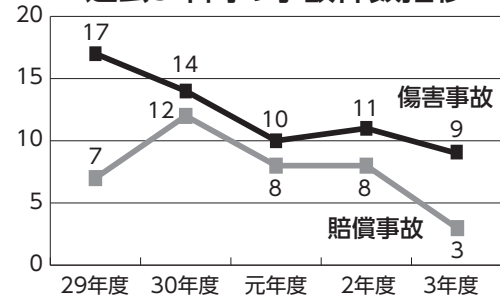
④傷害事故内訳



⑤賠償事故内訳



過去5年間の事故件数推移

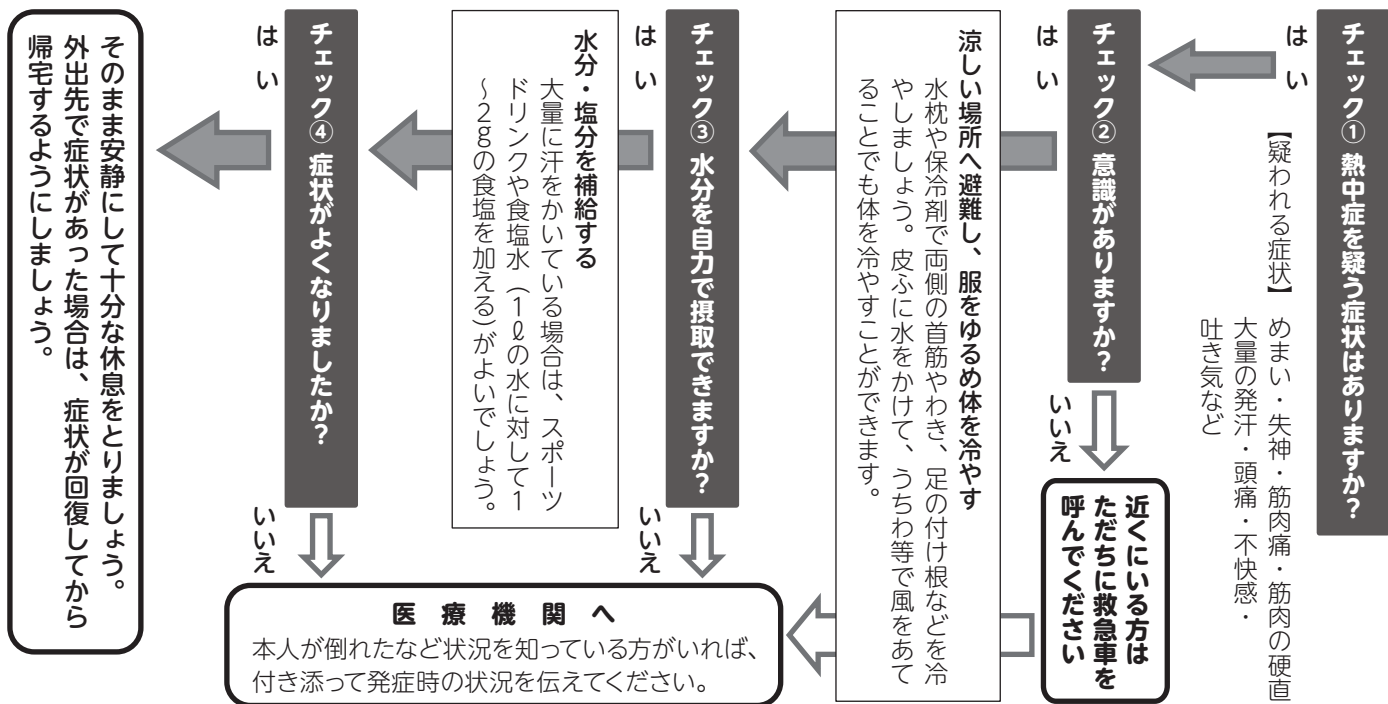


令和3年度は、令和2年度と比較すると、傷害事故は2件減少、賠償の事故件数は5件の減少となりました。傷害事故については転倒による事故がもっとも多く、傷害事故の約7割を占める結果となりました。賠償事故については、買物カゴをお客様に当ててしまったり、草刈機で小石を飛ばすなどして物を損壊した等の内容となっております。いずれもちょっとした気の緩みや不注意から起こってしまったという報告が挙がっています。

令和3年度の事故件数計は12件と令和2年度の19件に比べ、事故は7件減少となりました。また、過去5年間では最も少ない件数となっております。

事故発生件数においても、減少傾向にあります。今後におきましても自身の健康面、また、就業中や就業場所に行く時、帰るとき等、気の緩みが無いよう、常に周囲の状況等を気にしていただき、事故の防止に努めましょう。

熱中症が疑われた場合の対応について



『家族・友人紹介制度』を 開始いたします。

令和4年8月1日(月)から「家族・友人紹介制度」を開始いたします。この制度は、当センターに登録されている会員の皆様を対象として、紹介した会員及び紹介を受けて会員登録された方に対し、QUOカードを進呈させていただくものです。

ご家族はもちろん、信頼できるご友人など、60歳以上で川崎市内在住の健康で働く意欲のある方がおられましたら是非ご紹介ください！

「家族・友人紹介制度の流れ」

①紹介者（既に会員登録されている方）から、会員登録をご希望される方へ、本誌6ページにあります『家族・友人紹介カード』をお渡しください。

※『家族・友人紹介カード』の【紹介者（会員）】欄に紹介者の会員番号と会員氏名、新規入会希望者の氏名を必ずご記入ください。紹介者が不明の場合、『家族・友人紹介カード』は無効となります。

※ご紹介する方が複数いらっしゃる場合は、本誌6ページをコピーしてご利用ください。

②会員登録をされる方は、紹介者から受け取った『家族・友人紹介カード』をご持参のうえ、当センターにて入会の手続きをお願いします。

③会員登録が完了しましたら、後日、紹介者にご登録いただいた方それぞれにQUOカード500円分を郵送させていただきます。

※紹介者は、紹介した方の会員登録にご同行いただく必要はありません。

会員のひろば（投稿）

私の健康法のルーツ

2016年9月、敬老の日、福島に旅をしました。

東日本大震災に伴う原発事故で、今なお全町避難が続き、解除が依然として見えないこの「無人の町」で、いつか故郷に戻れる事を信じて、町民の留守を守るお年寄り達がいました。

その名は「じじい部隊」。交代で現地に駐在し、草刈り、防犯パトロール等に汗を流す。『若い者と違って俺たちは、町中を知り尽くしている年の功だ』と誇らしげに語る姿がまぶしく頼もしい。年齢は、私達シルバー人材メンバーよりはるかに高齢であろう。しかし非常に明るくお元気です。「お元気の秘訣は？」と聞くと「秘訣なんかないや。努力あるのみです。ただ医師が推奨する健康法『一、十、百、千、万のすすめ』を実践している」と言われ、その内容を教わりました。日に「一回」は少し長めの文章を読む。「十回」大笑い。「百回」深呼吸。「千字」は文字を千字以上書く。「二万歩」は歩くこと。

「じじい部隊」のメンバーは、毎日、新聞を読み、気取らず笑いの絶えない会話や連絡に歩き、草刈りや作業後、ラジオ体操で深く息を吸ったりはいたり。新聞の記事やコラムを書き写したり読んだり胸を張る。

「でも日に一万歩はさすがに・・・」と苦笑して終わりました。

私も「じじい部隊」より刺激を受け2017年1月元旦より実践。毎日千文字書く為に「マイブック2017年の記録、自分の本『新潮文庫』を購入し、毎年12月31日に出来上がった一冊を見て、今年も自分に勝ったと。今年で6冊となりました。

一万歩もコロナ禍以前は一万歩以上、今は仕事が少なく5千〜6千歩です。でも健康法は自分自身の為持続してまいります。



南部事務所
佐藤 正会員

◆投稿記事・写真を募集します

会報編集委員会では会員投稿記事や写真などを随時募集しています。奮ってご応募ください。

◆募集内容

①投稿記事…例・感染症の予防について、就業時の経験談、私の健康法

など約3000字程度

②写真…風景、草花や自作の絵画・彫刻などの写真（L版又は2L版）にタイトル（コメントがあれば100文字以内で）を添えてご郵送ください。

◆応募方法

氏名・住所・電話番号を明記してご郵送ください。

◆送り先

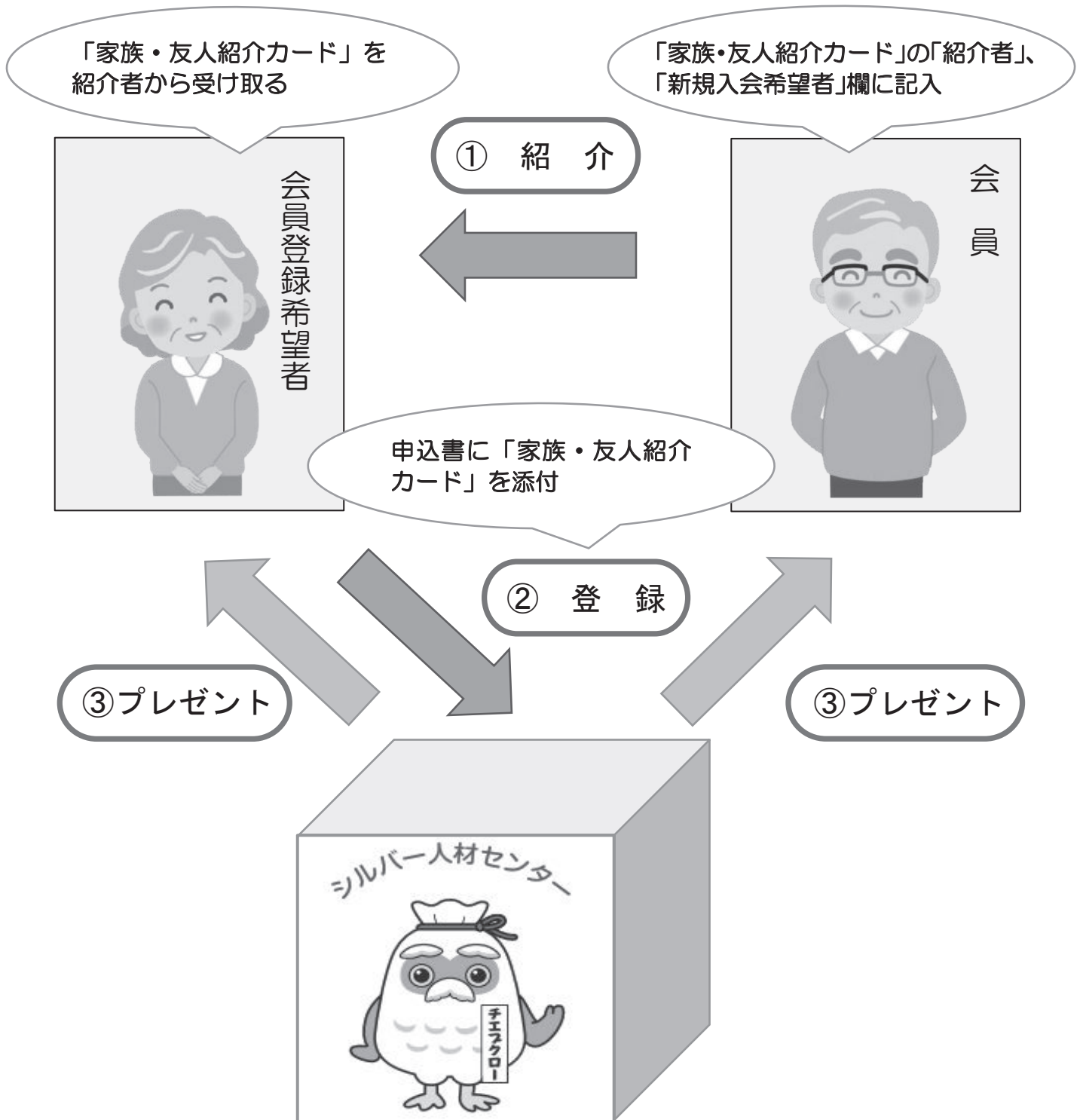
〒2110-0026
川崎市川崎区堤根34-15
(公財)川崎市シルバー人材センター

会報編集委員会迄

※採用された方には、QUOカードを贈呈いたします。

シルバー人材センター 『家族・友人紹介制度』 令和4年8月1日より開始します！！

会員の方がご紹介したご家族・ご友人が、会員登録をした際に、紹介者と新規登録者のそれぞれに、QUOカード500円分をプレゼントいたします。
会員のみなさま、ご家族はもちろん、信頼できるご友人などをご紹介ください。



2022. 8. 1 Mon
START!!

家族・友人紹介カード

■川崎市シルバー人材センター会員の条件

60歳以上で市内在住の健康で働く意欲のある方なら、男女を問わずどなたでも会員として登録出来ます。

また、以前登録をされていて、退会された方の再入会につきましても対象となります。

紹介者(会員)

会 員 番 号	会 員 氏 名

新規入会希望者

フリガナ		
氏 名		
紹介者とのご関係 (※いずれかに丸印)	友人(知人)	家 族

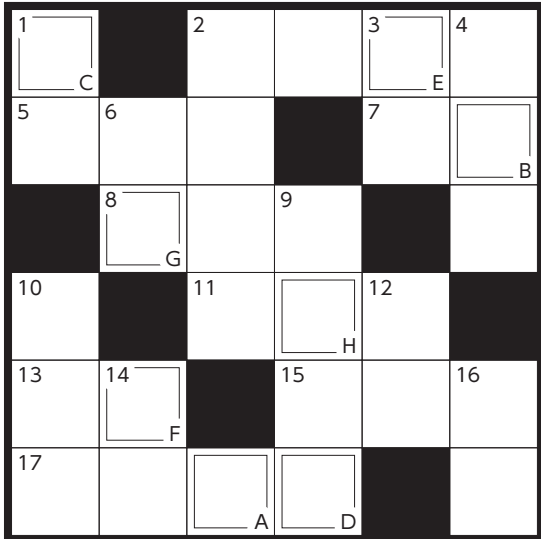
会員登録の方法につきましては、まずは下記の担当事務所へお電話ください。
会員登録手續のご案内や会員申込書等を郵送いたします。

川崎市・幸区・中原区 にお住まいの方	南部事務所	044-222-1550
高津区・宮前区 にお住まいの方	中部事務所	044-822-5031
多摩区・麻生区 にお住まいの方	北部事務所	044-980-0131

本カードは会員登録時に申込書と一緒に、
各担当事務所に提出してください

センター記入欄	会員番号:	受付日(西暦)	年	月	日
---------	-------	---------	---	---	---

新企画! 脳カトレーニング!! 「クロスワードパズル」



多くの会員の皆様に「シルバーかわさき」を楽しんでいただくための第1弾として「クロスワードパズル」を企画しました。プレゼントをご用意しましたので、是非ご参加ください。

タテのカギ、ヨコのカギのヒントを頼りにクロスワードを完成させ、マスA~Hを順番に並べてできるキーワードをハガキにご明記のうえ、ご応募ください。正解者の中から抽選で10名様にQ.U.Oカード500円分をプレゼントいたします。

★タテのカギ

タテ1	大勢が一度に乗ることが出来る乗合自動車。
タテ2	からだの性質。「虚弱〇〇〇〇」
タテ3	除草作業で使う代表的な道具。
タテ4	家にいないふりをする事。
タテ6	除草作業で刈り取るもの。
タテ9	液体や粉末などをかき混ぜる装置。
タテ10	一番多いこと。「〇〇〇勝利投手」
タテ12	日が暮れて間もないころ。「〇〇の□」
タテ14	囲み。骨組み。物の周りを取り囲む線。「〇〇組み」
タテ16	アメリカ・カナダなどのお金の単位。

◇ヨコのカギ

ヨコ2	たくさんの人が集まる会合のこと。
ヨコ5	縁日で見かける「金魚〇〇〇」。
ヨコ7	円形や球形に近い形。
ヨコ8	生の魚介類を切り、醤油などをつけて食べる料理。
ヨコ11	月が明るく照らす夜。
ヨコ13	動かすことができないほどの、大きな石。
ヨコ15	サッカーの日本代表長友選手のポジション。「〇〇〇バック」
ヨコ17	客を乗せて運ぶ自動車。距離や時間に応じたお金を取る。

◎キーワード

A	B	C	D	E	F	G	H

【応募方法】

ハガキに ①会員番号 ②会員氏名
③住所 ④キーワード を記入のうえ、
下記までお送りください。

〒210-0026
川崎市川崎区堤根34-15
(公財)川崎市シルバー人材センター
会報編集委員会宛て

※応募締切
令和4年8月31日(水)まで(必着)
※ご応募は会員1名につき1回までとい
たします。

配分金支払日

7月分から9月分の配分金支払日は
次のとおりです。

7月分	8月25日(木)
8月分	9月26日(月)
9月分	10月25日(火)

※配分金は、月末で締め、翌月25日
(金融機関が休みの場合は翌営業日)
に指定された口座に、お支払いします。



センターの広報活動の取組として記憶に残りやすく、場所を選ばずに広告宣伝ができるクルマ用マグネットシート(ステッカー)を新しく作成しました。

車体とシート(ステッカー)の色味や文字のバランスを考え、少しでも宣伝効果を上げられるよう試行錯誤し、明るいイメージかつ人の目を惹きやすい色と言われる黄色(イエロー)を基調としたデザインにしました。

作成したマグネットシート(ステッカー)を、各事務所で使用している社用車に貼り付けるといった新しい普及啓発活動を開始しました。動く看板がもたらす効果を期待しているところです。

広報用マグネットシート(ステッカー)を作成しました!

事務所だより

★南部事務所

☎222-1550

★除草からスプーンづくりへ
 ～更なる達成感を求めて～

佐藤成光会員（川崎区・90歳）



16年間にわたる除草作業を昨年度で退かれ、現在は趣味の木製スプーンづくりに取り組まれている佐藤成光さん。ご自宅を訪問すると、作業場を兼ねた玄関には、これまで除草作業で使ってきた自作の鎌や、スプーン制作に必要な機械、道具類、材料がずらりと並んでいました。

除草作業

佐藤さんは、もともと、大工や、アルミサツシの組立、加工といったお仕事に携わられていましたが、シルバー人材センターには町内会の回覧板の記事がきっかけで平成18年に入会されました。除草作業は、当時の職員に勧められ初めて取り組むことに。

「始めたころは、草花の名前も分からなくて、お客様から尋ねられても答えられなかったんですね。それで通信教育などで勉強して、そこからだんだん面白くなっていったんですよ。」

道具にも独自のこだわりをお持ちで、処分する古い鎌を譲り受け、刃先を狭くしたり、長さや角度を変えたりしたねじり鎌を30丁ほど自作して、土の硬さや草の種類によって使い分けてきたそうです。「時間や、除草の仕方など、お客様のニーズも踏まえて最適なものを選んで作業し、それがうまくいった時の達成感が糧となって続けてこれたんじゃないかな。」



こだわりのねじり鎌

スプーンづくり

ただ、ここ数年、作業中に息苦しさを感じたり、重いものを持ちづらくなってきたりしたため、除草作業からは退かれましたが、「やることなくして時間を持て余すことが苦手な性分なので、少ない材料ででき、あえて時間がうんとかかるものということで木製のスプーンづくりを始めてね。一つとして同じものができない面白さがあるし、差し上げると皆さん喜んでくれるのがうれしくて。」と益々生き生きとされています。



素材から完成まで

堅い桜や枇杷の木に、型紙にデザインしたものを転写し、そこから徐々にさまざまな個性を持ったスプーンが形作られていきます。「日に2本ずつくらのペースでやっています。これこそは最高傑作だと納得のいくものは、まだないかなあ。でも時間はたっぷりあるので、今後もじっくりやっていますよ。」と更なる達成感を求めて日々制作に意欲を燃やされています。

中部事務所

☎822-5031

◎安全・適正就業巡回指導

令和4年7月4日(月)

高津区にある光明寺における屋外作業の現場を中部事務所の安全・適正就業委員1名と職員1名で巡回しました。
当センターが依頼されている仕事としては、年に6回程度の除草作業とお墓周りのお掃除を行っています。

現場では、主に除草作業を行っておりました。当日は雨が降ったり止んだりしており地面も濡れて足を取られそうな場所もあるため、普段以上に足元に気を付けて作業をしていました。

安全・適正就業委員からはニュースでも多く取り上げている「猛暑」という状況下で会員はしっかりと休憩を取り、こまめに水分補給をするなど熱中症対策もしている様子が見受けられたと話がありました。



巡回の様子

◎安全・適正就業対策会議

令和4年7月8日(金)

中部事務所会議室にて、令和4年度第1回中部事務所安全・適正就業対策会議を実施しました。

「令和4年度安全・適正就業委員会の報告」「熱中症の予防」「植木・除草作業会員への熱中症予防の周知」について資料に基づき事務局から報告・説明等を行いました。安全・適正就業委員や対策員からは喉が渴いてから水分補給をするのではもう遅いのではないかと。少しづつでも細目に水分補給をした方が良いのではないかと意見がありました。

令和3年度の事故発生状況については、傷害事故の内訳を全体で見ると昨年度に引き続き、



安全・適正就業対策会議の様子

転倒事故が多い印象を持ちました。中部事務所では傷害事故1件と賠償事故がなしという結果となり、事故が少ない一年であったと報告いたしました。

北部事務所

☎980-0131

◆事務所安全・適正就業対策巡回指導について

令和4年5月12日(木)

安全・適正就業委員及び事務局職員で、多摩区長沢にある物件敷地内の除草作業の巡回指導を実施しました。

作業場所は、長沢浄水場の近くにある広大な敷地で、6名の北部事務所除草班に所属している会員が、年に数回、敷地内の除草作業を行っています。

当日は、はじめに委員2名が就業の現場を確認し、その後、就業会員に対して作業内容に関するヒアリングを行いました。



巡回の様子

巡回した委員の報告書には「広い敷地をベテランの方6名で、効率良く分担し除草を行っており、現場リーダーの下、皆さんが手際よく、実際に安全に十分気を配りながら作業をしていました」と記載されていました。

会報編集委員による取材

障害をお持ちの方の 複合施設で活躍中の 会員さんの御紹介

「よみうりゴルフ倶楽部」の南、多摩丘陵の稜線上（麻生区細山）に、社会福祉法人セイワ川崎授産学園という障害をお持ちの方を支援する複合施設があります。ここで齋藤会員・新井会員・小川会員・大森会員の4名が清掃のお仕事をされています。今回は取材当日に当番の小川会員と大森会員にお話を伺いました。

【和地管理係長様のお話】当学園は、入所・通所グループホームで、100名以上の障害をお持ちの利用者が過ごされています。日中は、手工芸品作りや腐葉土作り、また、シフォンケーキなどのお菓子作りや外部の公園の清掃などの様々な作業活動のほか、散歩など利用者の生活リズムを整えるような活動や、お茶会などの余暇活動も行うなど、日々支援に取り組んでいます。

さらに、市民交流事業において、市民の皆様



に障害者理解を深めていただくために、ボランティア受け入れに向けた講座を開催したり、天体観望会等イベント等を開催したりしています。シルバークの皆さんには、施設の廊下やトイレ、食堂等の清掃を実施していただいています。4名のメンバーに交代で2名ずつ、月曜日から金曜日までの朝9時から12時まで、3時間のお仕事をお願いしています。就業日数はそれぞれ1か月に10日程度です。廊下は長くてトイレも汚れやすいのですが、皆さんの仕事ぶりは素晴らしく、職員一同とても感謝しています。

【小川会員のお話】「ここでの就業は入所者や職員の皆様との関係が素晴らしく、充実感と満足感にあふれています。お仕事はなかなか大変で、最初の頃は、トイレトペーパーが詰まって水が溢れる事があり、『何で?』と当惑することもありました。今は『そんな事があっても当たり前』と思っています。さまざま清掃の技術を身につけたので、何があっても大丈夫です」

【大森会員のお話】「このお仕事を紹介されて良かったと思っています。仕事のある前日は気力が充実し、楽しみになりました。入所している方から『2、3日、見かけなかったけど、お元気ですか?』と言われた事があります。その方は知的障害があるようですが、優しいところをお持ちで、私を心配してくれていたのです。そんな事がたびたびあります。仕事を通じて社会とつながる事ができて、今は生きがいすら感じています。身体が元気なうちはこの仕事を続けて行きたいと思っています」

【齋藤会員のお話】「初めての就業でしたが、職員の皆様には親切丁寧に接していただき、思い

やりにあふれた職場で楽しく働かせていただいております」

【新井会員のお話】「職員の皆様からよく声掛けをしていただくなど、私たちが働きやすい環境を作っていたいただき、楽しくお仕事ができることを感謝しております」



(左)大森会員 (中)小川会員 (右)和地管理係長

【取材を終えて】私は今まで『障害をお持ちの方にはサポートをしなければ』と単純に考えていました。しかし当園を見学させていただいてからは、自立や就労の支援も大切である事を学びました。4名の会員さんたちは、恵まれた環境でそのお手伝いを生き活きとされています。とても素敵な皆さんでした。

取材：会報編集委員 井原良治